

創立50周年を迎えて（式辞）

神奈川県立旭高等学校 校長 広瀬 邦彦



皆さんこんにちは。校長広瀬でございます。本日はご多用の中、旭高校の創立50周年記念式典にご来場いただきまして、誠にありがとうございます。旭高校は、開校当初より、多くの方々に支えられ、地域の中で愛され、共に発展してまいりました。本日は、ご来賓の方々のご臨席を賜り、皆様と共に記念式典が開催できることを本当にうれしく思います。そして、いままで関わっていただいたすべての方々に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

冒頭の動画のタイトルは「旭ファミリー」でした。旭高校に関わるすべての方々を、敬意をもって「旭ファミリー」と呼ばせていただいております。本日は皆さんも「旭ファミリー」の一員として、楽しい時間を過ごしていただければ幸いです。

初代、西校長は「自主自律」(法律の律)を校訓としました。当時は個人主義が社会に広がってきた時代で大切なことは、「自由には責任が必要であり、権利には義務が必要である」ということです。社会人として自分と向きあい、自分をコントロールする力を高校時代から育てていきたいとの思いが込められております。自律(自分と向き合うこと)なくして自立(大人になる)ことはないということです。皆さんもうまくいかないことを人のせいにしていううちは大人にはなれないということですね。

私は、明るく、元気で、爽やかな挨拶をしてくれる皆さんと、学校行事や部活動に一所懸命取り組む旭高校の校風が大好きです。しかし、この3年間は、コロナ禍で学校行事や部活動の大会が中止となり、本当に苦しく、辛い時間を過ごしました。その中で、今年の文化祭は、一般公開を見送る動きがある中で、自分たちから感染予防対策を施し、大切な人を3名まで招待する形で動きだし、無事に成功することができました。今年も、制限のない中での実施でしたが、前日は、台風の影響で大雨となり、準備が進みませんでした。例年行っている、全員参加のオープニングセレモニーがグラウンドで、できない状況となり、急遽、自分たちで話し合い、中庭に場所を移し、クラスの準備を優先して、参加できる人で実施する形に変更しました。当日は晴天に恵まれ、今年から始まったアンブレラパフォーマンスもとてもきれいで、多くの生徒が参加し、大いに盛り上がりました。

いままでは、「これはだめ、それは無理」と言われていた時代から、「これはできる。これなら大丈夫だ」と自ら考え、創意工夫をし、仲間と協力して動き出せたことは素晴らしいことだと思います。これからの社会で必要とされる力となるでしょう。50年前に「人格の陶冶」を教育目標の第一に掲げ、人間力の向上を育ててきたことが、今も脈々と受け継がれ「たくましく生きる力」を育てていると強く感じました。

結びとなりますが、令和9年度に横浜旭陵高校と合併し、新しい学校に生まれ変わります。お互いのいい所を継承し、令和の魅力ある新しい学校づくりを進めてまいります。それと同時に、残り3年半で「昇れ旭、輝け旭！」をスローガンに、学校行事や部活動、学びの充実に、一人ひとりが輝けるよう、職員一同、力を合わせて取り組んでいきたいと考えております。

今まで以上のご支援、ご協力、ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。旭高校のますますの発展と皆様方のご健勝祈り、式辞とさせていただきます。ありがとうございました。

令和5年10月26日